

保証書

この製品は、厳密な品質管理を經過お届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

GPS-525MR

●保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※お客様

ご住所 〒

TEL () -

お名前

※販売店

店名・住所 〒

TEL () -

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

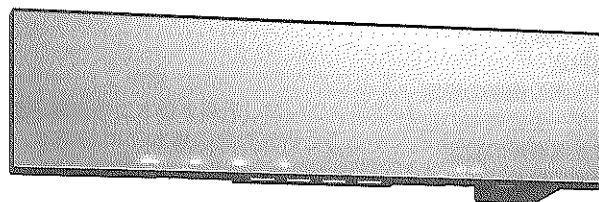
MARUHAMA

GPS・カーロケーター受信機能搭載
ルームミラー型 高感度レーダー探知機

XANADY
GPS-525MR

取扱説明書

<保証書付>



GPS-525MRをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。




目次

安全についてのお願いとご注意	1
ご使用前に	3
製品の構成	5
本機の特長	6
各部の名称	8
取付方法	9
1. GPSレーダーの取付け	9
2. 電源コードの接続	10
使用方法	11
1. GPSレーダーの起動	11
2. 待機状態	12
3. 各種設定をおこなう場合	15
4. 警告音の設定	16
警告動作	17
1. GPS測位機能	17
2. GPS機能の警告動作	18
3. レーダー受信機能の警告動作	22
4. 無線受信機能の警告動作	24
GPSレーダーの設定	26
1. 初期設定	26
2. GPS測位機能の設定	26
3. レーダー受信機能の設定	30
4. 無線受信機能の設定	32
5. その他の機能	33
故障とお考えになる前に	35
主な仕様	36
保証規定	37
保証書	裏面







安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を理解してから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。





■絵表示の例

-  △記号は気をつける必要があることを表しています（警告・注意）。
-  ⊘記号はしてはいけないことを表しています（禁止）。図の中の表示は禁止の内容（左図は分解禁止）を示し、一般の表示は⊘です。
-  ●記号はしなければならないことを表しています（強制）。図の中の表示は強制の内容（左図は差し込みプラグをコンセントから抜く）を示し、一般の表示は●です。




人身の安全のためにお守りいただくこと

-  ■本機を濡らさないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  ■車を運転中に本機を操作しないでください。
車の運転中に、本機の操作を行うことは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ■ケースは絶対に開けないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■スピードの出しすぎにご注意ください。
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
-  ■発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
-  ●

けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと

-  ■本機の取付けの際、ルームミラーに強い荷重をかけないでください。
取付けは、ルームミラーに強い荷重が加わらないように、ルームミラーをしっかりと支えて行ってください。
車体への取付強度が弱い一部の車種（軽自動車やフロントガラス接着型の車など）では、破損の原因になります。
-  ■衝撃や強い振動を加えないでください。
衝撃や強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因になります。
-  ■高温時の取扱にご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。
-  ■ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。

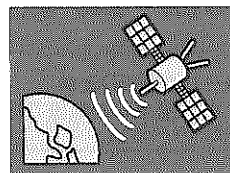
機能上の制約

-  ■日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
-  ■周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。
前方に走行中の車（特に大型車）がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車での使用時も受信しにくい場合があります。
-  ■取締レーザー波以外の電波を受信することがあります。
取締レーザー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

ご使用の前に

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは地球の衛星軌道にある人工衛星からの信号を利用して位置情報を算出するシステムです。
本機ではこのシステムを利用して自転車の走行状況を判断することで、あらかじめ登録されている速度取締機やNシステムなどへの接近などを警告します。これにより電波が発射されず従来型のレーダー探知機では警告することのできなかったループコイル式の取締機についても警告を行うことができます。また、新たに設置された取締機についても30ヶ所まで登録することが可能です。

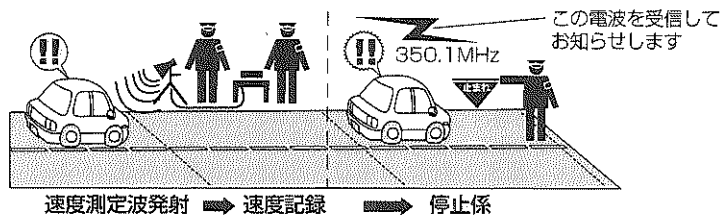


- Nシステム(自動車ナンバー自動読み取りシステム)とは
全ての走行車両を必要に応じて赤外線カメラにて撮影を行う犯罪防止等を目的とする自動車ナンバー読み取り装置です。

無線受信機能について

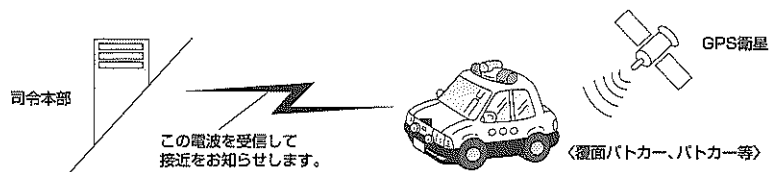
速度取締連絡波（取締無線）・無線自動車動態表示システム電波（カーロケ無線）を受信し、音声とランプの点滅で警告します。

■取締連絡波（取締無線（350.1MHz））とは



■カーロケーターシステム（カーロケ無線）とは

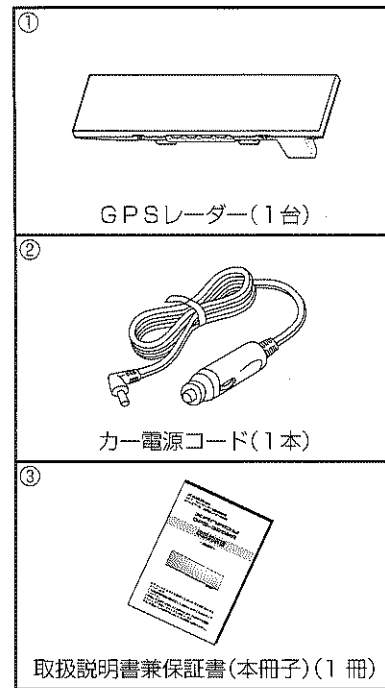
GPSで算出した警察車両などの位置情報を無線で定期的（間欠）に司令本部に送信するシステムです。



製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

- ①GPSレーダー..... 1台
- ②カー電源コード..... 1本
- ③取扱説明書兼保証書（本冊子）..... 1冊



本機の特長

【GPSレーダー探知機の特長】

GPS 警告機能

■各種警告ガイド機能

プリセットされている設置型取締機（オービス）・取締ポイントなどに接近すると、取締の種類などを音声とランプで警告します。通過時には通過速度を音声でお知らせします。

●設置型取締機（オービス）（P19 参照）

全国のオービス（レーダー式オービス／ループコイル式オービス／LHシステム／Hシステムなど）を約650箇所登録しています。

●取締ポイント（P19 参照）

よく速度取締りが行われているポイントを取締ポイントとして登録済み。

●Nシステム（ナンバー自動読みとりシステム）（P20 参照）

全国で約1650箇所登録しています。

●SA（サービスエリア）・PA（パーキングエリア）（P20 参照）

全国のサービスエリア・パーキングエリアを約800箇所登録しています。約2キロ手前で、併設されている給油所の営業情報も併せてお知らせします。

●オリジナルポイント 最大30ヶ所まで登録できます。（P19・27 参照）

■6ステップ警報システム

取締機の約2 km前から、段階的に6ステップの音声とランプで警告します。

■オートマチック・イノベーション・システム（AIS）

走行状況进行判断し、GPS 警告の対象道路（高速道路／一般道路）、及びレーダー受信感度（エクストラ／ウルトラ／スーパー／ノーマル）を自動的に設定します。

※走行状況により、走行道路を正しく判断できない場合があります。その場合は、自動的にオールモード設定となり、すべての取締機に対しての警告を行います。

■ドライビング・サポート・インフォメーション

各種の情報を音声で警告し、安全運転を促します。

■最終通過速度の確認機能（P29 参照）

最後に通過した取締機／オリジナルポイントでの通過速度を確認することができます。

無線受信機能

■速度取締り現場の取締無線（350.1MHz）が受信可能（P24・32 参照）

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信し、警報音声とランプでお知らせします。

■カーロケーターシステム電波が受信可能（P24・32 参照）

407MHz 帯のカーロケ無線を受信し、警報音声とランプでお知らせします。緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。また、対象車両の接近や離反を判断し、音声でお知らせします。

※一部地域や車両ではシステムが導入されていない為、受信することができません。

■トラップゲートモード搭載（P24 参照）

一定時間内に取締無線・カーロケ無線を複数回受信した場合、ランプの点滅と専用アラームで取締りや検問などの可能性が高いことをお知らせします。

レーダー探知機能

■X/K 2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式速度取締機に対応します。

■4モード感度切替・オート感度切替機能（P22・30 参照）

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況に合わせてレーダーの受信感度の切り替えができます。

オート感度モードでは、走行状況に応じて適切な感度に自動的に切り替えます。

■ステルス／新Hシステム対応

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD. D. C. 回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。

※ステルス識別モードはステルス型スピード取締りに完全対応しているわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。

■ゴーストアラームカット（GAC）機能搭載（P23・31 参照）

自動ドアによる誤警報など、不要な警報動作の発生位置を自動的に登録し、不要なアラーム音をカットします。自動登録のほか、手動登録も可能です。

■オートミュート機能（P23 参照）

一定時間レーダー波を受信し続けると、警告音の音量を自動的に小さくします。

その他

■オートアラームカット（AAC）システム搭載（P33 参照）

設定速度以下で低速走行している時、レーダーアラーム音や取締機への接近警告音を自動的にカットします。また、停車中の無線受信警告音もカットします。

■ミュート機能（P34 参照）

警報中の警告音を一時的に消音することができます。

■ナイトディマー機能（P34 参照）

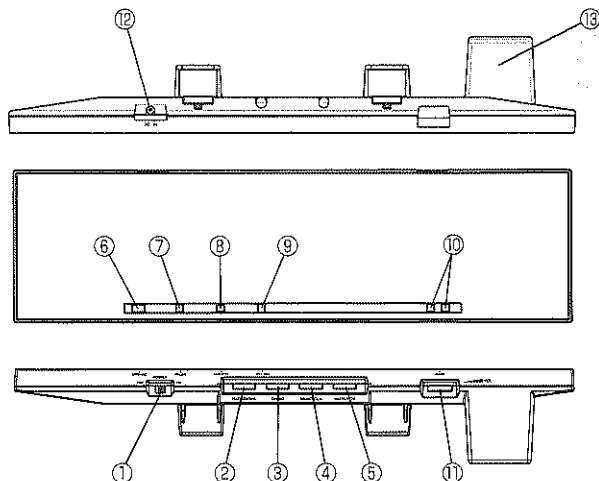
GPSの時刻情報をもとに夜間のランプの光量を自動的に抑え、眩しさを防ぎます。

■エレガントモード機能（P16 参照）

警報開始時に専用メロディのみでお知らせします。

各部の名称

<GPSレーダー>



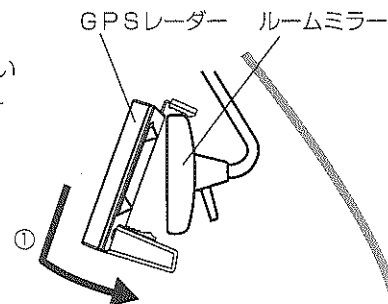
- ①電源スイッチ (POWER) …… 電源をON / OFF します。
- ②レーダー / GPS ボタン …… レーダー感度の設定や道路モードの設定を行います。
(RADAR / GPS)
- ③スピードボタン …… 通過速度の登録および再生を行います。
(SPEED)
- ④メモ / クリアボタン …… オリジナルポイントの登録および消去をします。また、GPS プリセットポイントのアラームカット登録・消去を行います。
- ⑤ミュート / レシーバーボタン …… 警告音のミュートやアラームテストを行います。また取締無線およびカーロケ無線の受信設定を行います。
(MUTE / RCV)
- ⑥GPS / AAC ランプ …… GPS の受信状態を表示します。
- ⑦レーダーランプ …… 受信感度設定および受信感度を表示します。
(RADAR)
- ⑧ハイウェイ / シティランプ …… GPS 警告の対象道路を表示します。
(HWY / CTY)
- ⑨407 / 350 ランプ …… 取締無線およびカーロケ無線受信時に表示します。
- ⑩ワーニングランプ …… レーダー受信・無線受信・GPS 警告時に表示します。
(WARN)
- ⑪音量調節つまみ (VOL) …… アラーム音や音声の音量を調節します。
- ⑫電源ジャック (DC IN)
- ⑬GPS受信部

取付方法

1. GPSレーダーの取付け

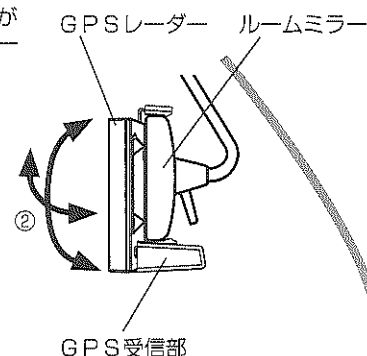
- ①GPSレーダーを矢印の方向にルームミラーに取り付けます。

※ルームミラーに強い荷重が加わらないように、ルームミラーをしっかりと支えて行って下さい。



- ②ルームミラー (GPSレーダー)の角度を調整します。

※本品を持って行くと外れてしまう場合がありますので、必ず純正のルームミラーを持って行ってください。

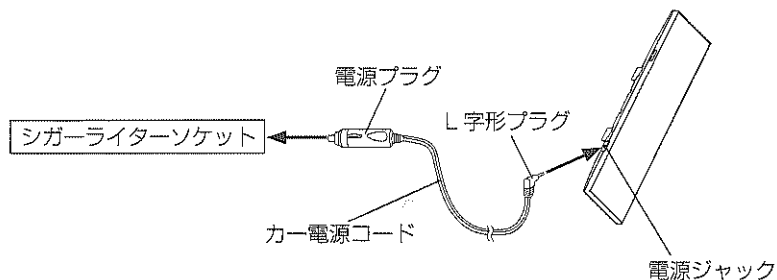


注意

- 本品の取付けによってサンバイザーが使用できない場合があります。
- 取付けの際に本機が落下しないようにしてください。
- 本機がルームミラーにしっかりと装着されていることをご確認の上、走行してください。

2. 電源コードの接続

付属のカー電源コードのL字形プラグを本体の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットにそれぞれ差し込みます。



※カー電源コードは運転の邪魔にならないように、市販のコードクリップなどを使ってきれいにまとめてください。

ご注意

- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

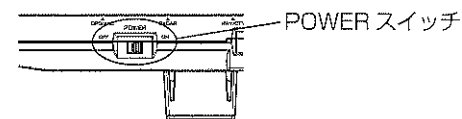
使用方法

●本機は工場出荷時に初期設定しています。初めてお使いになる場合など、わずらわしい各種設定をしなくても電源を入れるだけで安心してご使用できます。

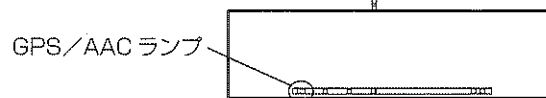
1. GPSレーダーの起動

操作方法

- 1 電源を入れます
(POWER) スイッチをONにします。



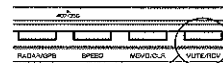
- 2 GPS測位を開始します
GPS測位が確定するまでGPS/AACランプが青色の点滅を繰り返します。
GPS測位が確定すると「ポーン、GPSを測位しました」とアナウンスし、GPS/AACランプは青色に点灯します。



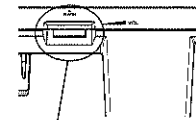
ご注意

- 初めてお使いになる場合、GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- GPS測位を完了し、GPS/AACランプが点灯した状態でないとGPS警告機能は動作することができません。
- 測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は障害物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

- 3 音量調節つまみで音量を調節します。
(MUTE/RCV) ボタンを短押しして警報のテスト動作をしながら、音量の調整をします。



MUTE/RCV ボタン

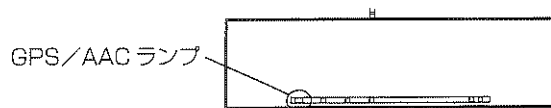


音量調節つまみ
音量小 ← → 音量大

2. 待機状態

■GPS測位

GPS測位が完了しているとき、GPS/AACランプは青色に点灯しています。この状態の場合は各種GPS機能が有効となります。



GPSの測位状態・AACの動作状態	GPS/AACランプ
GPSサーチ中・未測位	青点滅
測位完了	青点灯
AAC機能が働いているとき（アラームカット状態）	赤点滅

●注意

- GPS測位が完了していない、あるいは衛星の電波が弱まり測位できなくなった場合にはGPS/AACランプが青色に点滅します。この状態ではGPS警告機能は動作することができませんので、注意してください。
- 測位が完了するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は障害物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

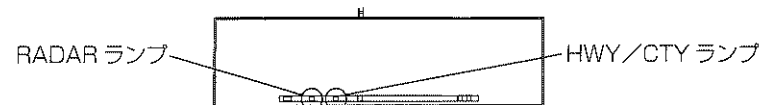
ちよつと言

GPS/AACランプは、AAC（オートアラームカット）機能の表示を兼用しています。AAC機能が動き、警報アラーム音などをカットしている状態のときはGPS/AACランプは赤色に点滅し、AAC機能が働いていることを示します。

■GPS警告の対象道路種とレーダー感度

走行する道路に合わせ、必要に応じて道路モードとレーダー感度の設定を行ってください。道路モードの設定はHWY/CTYランプ、レーダー感度の設定はRADARランプで確認することができます。

※設定方法はP26・30参照



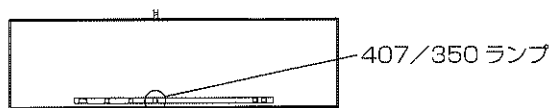
道路モード	GPS警告の対象	HWY/CTYランプ
オールモード	全ての道路の設置ポイント	橙点灯
高速モード	高速道路に設置されたポイントのみ	赤点灯
一般モード	一般道路に設置されたポイントのみ	緑点灯
オート切替モード	走行状態を自動認識して切替え	走行状態に応じて変化

レーダー感度	受信感度	使用例	RADARランプ
エクストラモード	↑ 高 ↓ 低	高速道路など、高速走行時	緑点灯
ウルトラモード			橙点灯
スーパーモード			赤点灯
ノーマルモード		市街地一般道などの走行時	消灯
オート感度モード		状況を判断し、適切な感度に自動的に切り替えます。	走行状態に応じて変化

■無線受信機能

無線受信機能のバンド受信のON/OFF設定は407/350ランプで確認することができます。必要に応じて、各種無線バンドの受信設定を行ってください。

※ 設定方法はP32 参照



取締無線	カーロケ無線	407 / 350 ランプ
ON	ON	橙点灯
ON	OFF	赤点灯
OFF	ON	緑点灯
OFF	OFF	消灯

ちよっと一言

- ・取締無線は、スピード違反やシートベルト取締の際の現場連絡に使われることのある無線バンドです。音声で交信されることもありますが、本機は無線を受信したことをボイス警報でお知らせします。
- ・カーロケ無線は、パトカーなどの警察車両の位置情報を警察署などに伝送する無線バンドです。デジタル化されており、音声として聞くことはできません。本機では、無線を受信したことをボイス警報でお知らせします。また、カーロケ無線はシステムを導入していない地域では受信することができません。

3. 各種設定をおこなう場合

工場出荷時に次のように設定されており、通常はそのままご使用になれますが、使用状況やお好みで設定を変更できます。

設定項目	設定内容	種別	参照ページ
道路モード	オート切替モード	GPS機能	P13・17・26
オリジナルポイント	未登録		P19・27
GPSアラームカット	未登録		P28
Nシステム	常にON		P20
SA/PA	常にON		P20
通過速度	未登録		P29
レーダー感度	オート感度モード	レーダー機能	P22・30
ゴーストアラームカットエリア	未登録		P23・31
取締無線	ON	無線受信機能	P24・32
カーロケ無線	ON		P24・32
オートアラームカット	ON・40 km/h	共通	P33
警告音	ブザー		P16

各種設定を変更する場合は、本書をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

●注意

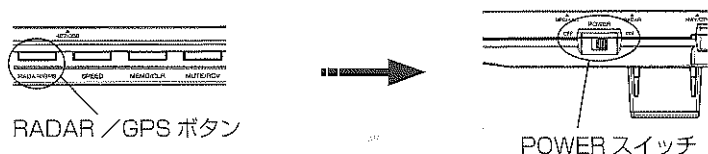
- GPS測位状態で登録・記録済みデータを基に、また、レーダー波、無線電波を受信することで警告動作します。GPSが未測位の状態、未登録の地点や無線受信が出来ない状態では、警告できません。

4. 警告音の設定

警告音は、ブザーモード・メロディモード・エレガントモードの3種類の中から、お好みの警告音を選択することができます。

設定方法

(RADAR / GPS) ボタンを押しながら **(POWER)** スイッチをONにします。同じ操作の度に警告音の設定が切り替わります。



	レーダー警告音	GPS警告音	レシーバ警告音
ブザーモード	ブザー	音声	音声
メロディモード	メロディ (カノン)	音声	音声
エレガントモード	専用メロディ (1フレーズ)		

ちょっと一言

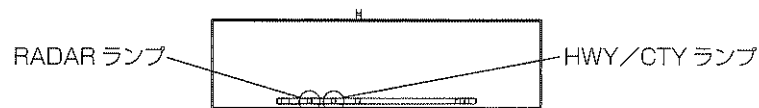
- 警告音の初期設定はブザーモードに設定されています。
- GPS警告およびレシーバ警告の警告音は、ブザーモード・メロディモードの場合、音声警告のみとなります。
- エレガントモードの場合、警告音は待機状態から警報に移るときに1回のみ専用メロディでお知らせします。

警告動作

1. GPS測位機能

■GPS警告対象とする道路種

走行する道路に合わせ、必要に応じて道路モードの設定を行ってください。
※設定方法はP26 参照



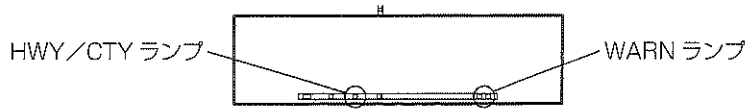
道路モード	HWY/CTY ランプ	警告対象
オールモード	橙	全ての道路の設置ポイント
高速モード	赤	高速道路に設置されたポイントのみ
一般モード	緑	一般道路に設置されたポイントのみ
オート切替モード	走行状態に応じて変化	走行状態を自動認識して切替えます

ちょっと一言

- 工場出荷状態では、道路モードはオート切替モードになっています。オート切替モードでは走行状態を判断し、適切な道路モードを自動的に設定します。
- 道路種のオート切替機能は、走行条件やGPSの測位状況によっては正常に道路モードを設定できない場合があります。その場合自動的にオールモードが選択されますのですべてのポイントを警告対象として動作します。
※道路状況によりオート切替モード設定が正常に動作しない場合があります。この場合、任意の道路モードに変更して下さい。

2. GPS機能の警告動作

GPSレーダーに登録されている設置型取締機（オービス）および取締ポイントと、お客様が登録されたオリジナルポイントに接近すると、WARNランプ、HWY/CTYランプ、音声によりお知らせします。



警告道路種	HWY/CTYランプ
高速道路	赤点滅
一般道路	緑点滅
オリジナルポイント	橙点滅

また、WARNランプはポイントまでの距離に応じて下記のように点滅します。

距離 (m)	WARNランプ
2 km告知	遅い点滅 ↑↓ 速い点滅
1200~800m	
800~600m	
600~400m	
400~200m	
200m以内	速い点滅

注意

●警告動作中、HWY/CTYランプは警告対象の設置道路種を表示します。

(1)オービス・オリジナルポイントに対する警告動作

①レーダー本体の警告動作

警告動作

- 1 2 km手前
WARNランプ、HWY/CTYランプ、及び音声により警告します。
警告例) “ポーン、高速道路、取締機に注意してください”
- 2 約1 km手前
WARNランプ、HWY/CTYランプ、及び音声により一定時間毎に警告します。
警告例) “ポーン、制限速度は100キロ未満です、1キロ先の高速道路、LHシステムに注意してください”
- 3 1 km~500m
WARNランプ、HWY/CTYランプ、及び音声により一定時間毎に警告します。
※車速がAACの設定値以下の場合には警告しません。
警告例) “ポーン、制限速度は100キロ未満です、1キロ以内の高速道路、LHシステムに注意してください”
- 4 500m手前
WARNランプ、HWY/CTYランプ、及び音声により一定時間毎に警告します。
警告例) “ポーン、制限速度は100キロ未満です、500m先の高速道路、LHシステムに注意してください”
- 5 500m~200m
WARNランプ、HWY/CTYランプ、及び音声により一定時間毎に警告します。
※車速がAACの設定値以下の場合には警告しません。
警告例) “ポーン、制限速度は100キロ未満です、500m以内の高速道路、LHシステムに注意してください”
- 6 200m手前
WARNランプ、HWY/CTYランプ、及び音声により一定時間毎に警告します。
※車速がAACの設定値以下の場合には警告しません。
警告例) 制限速度以下 “注意してください、注意してください、…”
速度超過15km/h以下 “速度オーバーです、注意してください、注意してください”
速度超過15km/h以上 “速度オーバーです、危険です、危険です、危険です…”
- 7 ポイント通過
警告例) “通過速度は90キロ未満です”

ちょっと一言

- 取締種や道路種の告知音声は、警報対象のポイントによって変化します。
・取締種の例：LHシステム/ループコイル式/Hシステム/
レーダー式オービス/NHシステム/オリジナルポイント/
取締ポイント（検問）など
- ・道路種：高速道路・一般道路
オリジナルポイントの場合、道路種のアナウンスはありません。
- 取締ポイントに接近したときは、500m圏内に入った時点で警報を終了します。
- トンネル通過直後などに設置されている取締機に接近した時は、トンネルの手前で警報しお知らせします。
- 警告音の設定をエレガントモードに設定しているとき、警報音声は警報開始時に専用メロディを1フレーズのみでお知らせします。（P16参照）

(2) その他の告知動作

・Nシステムに対する告知動作

約400m以内に接近すると、HWY/CTYランプ、WARNランプ、及び音声で告知します。

告知例) “ポーン、高速道路、Nシステムです”

(3) SA (サービスエリア) / PA (パーキングエリア) に対する告知動作

SAまたはPAの約2キロメートル手前で、HWY/CTYランプ、WARNランプ、及び音声で告知します。

告知例) “ポーン、2キロ先SA/PAです、給油所は営業中です”

ガソリンスタンドの設置・営業状況	音声
24時間営業	給油所は営業中です
営業時間内	
閉店中	給油所は閉店です
設置なし	給油所はありません

注意

- ガソリンスタンドの設置状況や営業時間は変更されている場合があります。お知らせする情報は参考とし、正確な情報は道路の管理会社などから入手するようにしてください。

(4) GPS機能に対するご注意

- 建物などの障害物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、測位できていないことを音声 (“GPSを測位できません”)でお知らせします。
GPSが未測位の場合はGPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。
- 警告ボイスは、GPSの測位状況により発生しない場合があります。
- 警告開始後、横道に入り方向転換するなどして危険を回避した場合、警告動作を終了します。

ちょっと一言

- ・距離の案内音声は、ポイントまでの距離に応じて“1キロ以内”や“500m以内”に変化します。
- ・道路種の音声案内は、ポイントに応じて“高速道路”または“一般道路”となります。
- ・プリセットポイントの場合は、警告ポイントの取締種別によって警告ボイスが変化します。
プリセットポイントの種類：LHシステム・Hシステム・
ループコイル式オービス・レーダー式オービス・
NHシステムなど
- ・通過速度の音声案内は、40キロ未満から150キロ以上まで10キロ刻みでお知らせします。
- ・トンネル直後に設置されている取締機についてはトンネル進入前にお知らせします。
警告例) “ポーン、トンネル出口の一般道路、Hシステムに注意してください”
- ・GPS警告中、車の走行速度がAAC設定車速よりも低い場合、一定時間毎の警告ボイスを自動的にカットします。

3. レーダー受信機能の警告動作

(1) レーダー受信感度の切替

レーダー感度は、走行状況に応じて自動的にレーダー感度が切り替わるオート感度モードと、4段階の中から任意の感度に設定して使用するマニュアル感度モードから選択することができます。(P30 参照)

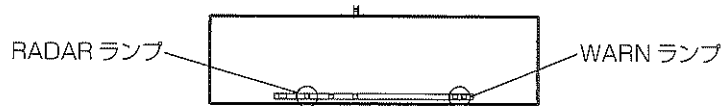
動作モード	選択感度	受信感度
オート感度モード	エクストラ/ウルトラ スーパー/ノーマル	走行状況を判断し、自動的に適切な感度に設定します
マニュアル感度モード	エクストラモード	高
	ウルトラモード	↑
	スーパーモード	↓
	ノーマルモード	低

ちょっと一言

- ・初期設定はオート感度モードに設定されています。
- ・オート感度モードでGPSが測位できない場合は、自動的に最高受信感度のエクストラモードに選択されます。

(2) レーダー受信動作

速度取締レーダー波を受信すると、警報音及びWARNランプ、RADARランプによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警報音及びランプの表示が変化します。
またステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。



<レーダー波受信時の警告動作>

	受信レベル	RADARランプ	WARNランプ	警報音	
通常の レーダー波	弱 ↑ ↓ 強	消灯	遅い点滅 ↑ ↓ 速い点滅	ブザー	メロディ 変化なし
		緑(点滅)		長い間隔 ↑ ↓ 短い間隔	
		橙(点滅)			
		赤(点滅)			
	緑⇄赤(交互点灯)	速い点滅	短い間隔		
ステルス波	強	緑⇄赤(交互点灯)	速い点滅	専用音声 “ステルスを キャッチしました。” 専用警報音 “ピロピロ…” (ブザー音、メロディ時のみ)	

ご注意

- ステルス型取締りに対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

ちょっと一言

- ・AAC設定がONの場合、設定車速以下で走行しているときはAAC機能が働き警告アラームは出力されません。
- ・レーダーの受信感度設定によっては、弱い電波を受信した場合にアラーム音を出力しない場合があります。
- ・警告音の設定がエレガントモードのとき、レーダー波受信当初に1回のみメロディでお知らせします。

(3) オートミュート機能

レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。
※レーダー波を受信した場合は20秒、ステルス波を受信した場合は10秒に設定されています。

(4) ゴーストアラームカット (GAC)機能

GPS機能を利用し、自動ドアなどの電波によるレーダー誤受信の発生位置をGACエリアとして自動的に登録することで、不要なアラーム動作を排除します。
※GACの登録時には、“不要な電波を消去しました”と音声でお知らせします。
GACの登録後はGACエリアでのレーダー受信時のアラーム出力を停止します。自動登録の他に手動で登録することができます。(P31 参照)

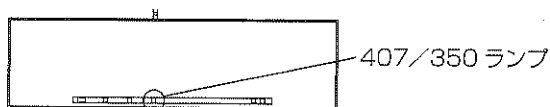
ちょっと一言

- ・設置型あるいはネズミ捕りなどの速度取締りによるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってGACエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作 (P31 参照) を行ってください。
- ・自動的に登録されたGACエリアで、30日以上レーダー波を受信しなかった場合、いったん消去されます。手動で登録されたエリアは自動消去されません。(P31 参照)
- ・GPSの測位状況によっては、GACエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

4. 無線受信機能の警告動作

取締無線 (350.1MHz) 及びカーロケ無線 (407MHz 帯) を受信すると、407 / 350 ランプ と音声でお知らせします。

受信バンドごとに、ON / OFF に設定することができます。(P32 参照)



(1) カーロケ無線の受信

407MHz 帯のカーロケ無線を受信すると、受信状況に応じて車両の接近・離反を判断し、ガイド音声と 407 / 350 ランプ でお知らせします。

緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。

(2) 取締無線(350.1MHz)の受信

取締無線を受信すると、ガイド音声と 407 / 350 ランプ でお知らせします。

(3) トラップゲートモード

一定時間内に取締無線とカーロケ無線を複数回受信した場合は、取締検問の可能性が高いと判断し、ガイド音声と 407 / 350 ランプ でお知らせします。

受信内容	ガイド音声	407 / 350 ランプ
カーロケ初回受信	<効果音> カーロケをキャッチしました	緑点滅
カーロケ接近	<接近効果音> 緊急車両が接近しました。注意してください	
カーロケ離反	<離反効果音> 緊急車両が遠ざかりました	
350無線	ピンポーン、 取締無線をキャッチしました	赤点滅
トラップゲート	ピンポーン、 検問に注意してください	橙点滅

ご注意

- カーロケーターシステムが配備されていない地域や緊急車両もあります。また、配備されている場合でも常に電波をだしているとは限りませんので、緊急車両が接近してもお知らせできない場合があります。
- 本機では、取締無線の受信警報の場合でもガイド音声のみの案内となります。無線の交信内容を聞くことはできません。
- 無線の受信警告がなくても取締りや検問が行われている場合がありますので、ご注意ください。
- 警告音の設定がエレガントモードのとき、無線受信当初に1回のみメロディでお知らせします。

GPSレーダーの設定

1. 初期設定

工場出荷時点で、次のように初期設定されています。
設定を変更する場合は、必要な項目のみ変更してください。

設定項目	設定内容	種別	参照ページ
道路モード	オート切替モード	GPS機能	P13・17・26
レーダー感度	オート感度モード	レーダー機能	P22・30
取締無線	ON	無線受信機能	P24・32
カーロケ無線	ON		P24・32
オートアラームカット	ON・40 km/h	共通	P33
警告音	ブザー		P16

2. GPS測位機能の設定

(1) 道路モードの設定

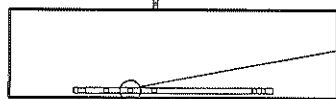
警告対象とする道路種を設定します。

設定方法

- 1 **RADAR / GPS** ボタンを長押しします。



RADAR / GPS ボタン



HWY / CTY ランプ

- 2 設定モードが切り替わり、音声とHWY / CTY ランプで3秒間点滅表示します。
(RADAR / GPS) ボタンを長押しする度に、設定モードが切り替わります。
3秒経過すると、設定を終了します。

モード	点灯色	設定内容	音声
オート切替モード	赤⇄緑 交互切替	道路モードを自動的に切り替えます	道路モードは オート切替です
オールモード	橙	全てのポイントを警告します	道路モードは オールモードです
高速モード	赤	高速道路のポイントを警告します	道路モードは 高速モードです
一般モード	緑	一般道路のポイントを警告します	道路モードは 一般モードです

注意

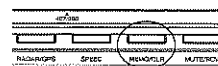
- 初期設定はオート切替モードに設定されています。
- オート切替モードを設定した場合、モード設定中はHWY / CTY ランプが赤と緑の交互に点滅しますが、設定が終了すると走行状況に合う適正な道路モードに切り替わります。
- (RADAR / GPS) ボタンを短押しの場合はレーダー受信の感度設定モードとなります。
- 障害物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、GPS / AAC ランプが点滅し、測位できないことをお知らせします。この場合GPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。
再度GPS測位を完了した時点で再びGPS / AAC ランプは消灯します。

(2) オリジナルポイントの登録・消去

新しく設置された取締機やよく取締りの行われているポイントなど、任意の地点を30カ所までオリジナルポイントとして登録することができます。

登録方法

- 1 **MEMO / CLR** ボタンを短押しします。
“ブーン” と音声でお知らせします。



MEMO / CLR ボタン

- 2 オリジナルポイントを登録します。
測位した位置をオリジナルポイントに登録します。GPSの測位状況によっては時間がかかる場合があります。
登録完了時は、音声で“オリジナルポイントを設定しました” とお知らせします。
GPSが測位できなかった場合は、オリジナルポイントの登録失敗となり、“GPSを測位できません” と音声でお知らせします。
登録数が30カ所を越えた場合は、登録不可能となり音声で“設定できません” とお知らせします。

- 3 受信待ちの状態になります
登録したポイントは、次回ポイント接近時にオリジナルポイントとして警告します。

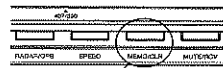
注意

- オリジナルポイントは最大30ヶ所登録可能です。新たに登録したい場合は、登録内容を消去してください。
- オリジナルポイントを個別に消去するには、それぞれのポイントのGPS警告中に消去操作を行います。

消去方法

オリジナルポイントは最大30カ所登録できますが、新たに登録する場合は登録済みのポイントを消去してから、新しいポイントを登録してください。

- 1 オリジナルポイントのGPS警告中に、**(MEMO / CLR)** ボタンを長押しします。



GPS 警告中

MEMO / CLR ボタン

- 2 ポイントデータを消去します。
"消去しました" と音声でお知らせします。

ちょっと一言

- ・オリジナルポイントを全て消去する場合は、オールクリアの操作を行なってください。(P34参照)
- ・全てのメモリーを初期化し、工場出荷状態にします。

(3)GPSアラームカットの登録・消去

取締機・取締ポイントおよびNシステムのGPS警告は、GPSアラームカット登録を行うことで接近時の音声警告をカットすることができます。

頻繁に走行するなど、よくわかっている場合に使用します。

GPSアラームカットは最大10ヶ所登録できます。

※登録を行った場合でも、WARNランプ、HWY / CTYランプによる警告は通常どおり行います。

登録方法

- 1 GPS警告中に、**(MEMO / CLR)** ボタンを長押しします。
取締機またはNシステムのGPS警告中に操作します。



GPS 動作中

MEMO / CLR ボタン

- 2 GPSアラームカット登録を行います。
音声で"設定しました"とお知らせします。

消去方法

GPSアラームカット登録を消去するには、GPSアラームカット動作中に**(MEMO / CLR)** ボタンを長押しします。操作後、"解除しました"と音声をお知らせした後、通常通りの音声警告を再開します。



MEMO / CLR ボタン

(4)通過速度の記録と再生

本機は、直前のGPS警告で告知した通過速度を自動で記録し、後で再生することができます。また、手動操作で速度を記録し、再生することもできます。速度の記録は、自動・手動とも各1カ所のみ記録できます。

①手動操作での記録

操作方法

- 1 **(SPEED)** ボタンを長押しします。



SPEED ボタン

- 2 走行速度を記録し、音声でお知らせします。
例) "ピンポーン、通過速度は100キロ未満です"

注意

- GPS測位していないと速度を記録できません。
記録できない場合、"設定できません"と音声でお知らせします。

②速度履歴の再生

操作方法

- 1 **(SPEED)** ボタンを短押しします。

- 2 記録された速度を、音声でお知らせします。
例)自動記録の場合："ポーン、通過速度は100キロ未満です"
手動記録の場合："ピンポーン、通過速度は100キロ未満です"
記録がない場合："履歴はありません"

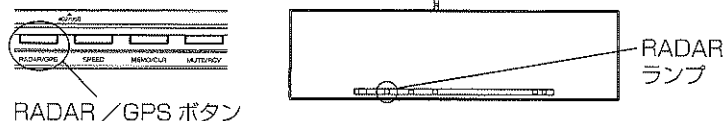
3. レーダー受信機能の設定

(1) レーダー感度の設定

レーダー式取締りのレーダー波の受信感度を設定します。

設定方法

- 1 **RADAR / GPS** ボタンを短押しします。



- 2 受信感度の設定を音声とRADARランプで3秒間点滅表示します。
3秒以内に **RADAR / GPS** ボタンを押す度に設定が切り替わり、設定された感度を音声とRADARランプでお知らせします。また、3秒経過すると設定を終了します。

レーダー感度 / 設定内容		点灯色	音声
オート感度モード：レーダー受信感度を自動的に切り替えます		赤⇄緑 交互切替	レーダー感度は オート感度です
ノーマルモード	受信感度 低 ↑ ↓ 高	消灯	レーダー感度は ノーマルモードです
スーパーモード		赤	レーダー感度は スーパーモードです
ウルトラモード		橙	レーダー感度は ウルトラモードです
エクストラモード		緑	レーダー感度は エクストラモードです

※レーダー波の受信感度は、通常時もRADARランプで点滅表示します。

注意

- オート感度モードを設定した場合、モード設定中はRADARランプが赤と緑の交互に点滅しますが、設定が終了すると走行状況に合う適正な受信感度モードに切替ります。

(2) ゴーストアラームカット(GAC)エリアの手動登録・消去

自動ドアなどの電波によるレーダー誤動作発生位置を70ヶ所まで登録できます。GACエリアとして登録された場所では、レーダー受信時のアラーム音をカットします。

登録方法

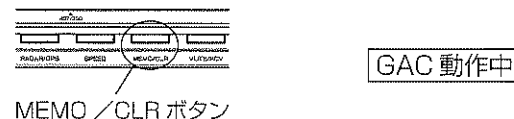
- 1 レーダー受信中に **MEMO / CLR** ボタンを長押しします。
“ボーン、不要な電波を消去しました”と、音声でお知らせします。



- 2 現在位置周辺をGACエリアとして登録します。
現在位置を中心として一定範囲をGACエリアとして登録します。登録完了時には、“不要な電波を消去しました”と音声でお知らせします。測位できず登録できなかった場合、“GPSを測位できません”とお知らせします。

消去方法

- 1 GAC動作中に **MEMO / CLR** ボタンを長押しします。



- 2 GACエリアを消去します。
音声で“解除しました”とお知らせし、通常のアラーム警告が行われます。

注意

- GPSの測位状況によっては、GACエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。
- ゴーストアラームカットエリアは最大70ヶ所登録可能です。新たに登録したい場合は、登録内容を消去してください。

4. 無線受信機能の設定

取締無線(350.1MHz)およびカーロケ無線(407MHz帯)の受信設定を行います。

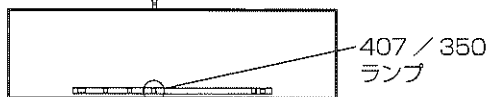
取締無線およびカーロケ無線の受信設定

操作方法

1 MUTE / RCV ボタンを長押しします。



MUTE / RCV ボタン



407 / 350
ランプ

受信設定を音声、407 / 350 ランプで3秒間点滅表示します。3秒以内に MUTE / RCV ボタンを長押しする度に設定が切り替わり、受信を音声と407 / 350 ランプでお知らせします。また、3秒経過すると設定を終了します。

受信設定 (ON/OFF設定)	点灯色	ガイド音声
カーロケ無線 / 取締無線	橙	取締無線はONです カーロケ無線はONです
取締無線のみ	赤	取締無線はONです カーロケ無線はOFFです
カーロケ無線のみ	緑	取締無線はOFFです カーロケ無線はONです
OFF	消灯	取締無線はOFFです カーロケ無線はOFFです

2 受信待ちの状態になります。

取締無線またはカーロケ無線を受信すると407 / 350 ランプが点滅し、ガイド音声でお知らせします。(P24 参照)

注意

- 初期設定は取締無線、カーロケ無線共にON(受信)に設定されています。
- カーロケ無線は全ての緊急車両に搭載されているわけではなく、また常時車両から電波をだしているわけではありません。このような場合は緊急車両の接近があってもお知らせすることはできません。

5. その他の機能

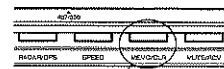
(1)オートアラームカット(AAC)システムの設定

GPS測位で得た車速をもとに、停車中や低速走行時は不要な警報音をカットします。AAC動作中は、GPS / AACランプが赤色に点滅してお知らせします。

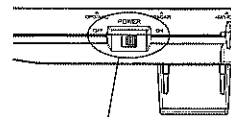
レーダー波 受信時	AACがONのとき	AACの設定速度以下で低速走行している時にレーダー波を受信した場合、アラーム音をカットします。
	AACがOFFのとき	車速にかかわらず、アラーム音を出力します。
GPS警報	AACがONのとき	AACの設定速度以下で走行している時、繰り返しのガイド音声のみカットします。
	AACがOFFのとき	車速が20 km/h以下の時、繰り返しのガイド音声をカットします。
無線受信時	AACがONのとき	車速が5 km/h以下の時、ガイド音声をカットします。
	AACがOFFのとき	車速にかかわらず、ガイド音声を出力します。

操作方法

(MEMO / CLR) ボタンを押しながらPOWERスイッチをONにします。



MEMO / CLR ボタン



POWER スイッチ

操作を行う度にAAC機能及び設定速度が切り替わり音声で設定内容をお知らせします。

設定	設定速度	音声
ON	40 km/h	AACを40キロに設定しました
	50 km/h	AACを50キロに設定しました
	60 km/h	AACを60キロに設定しました
OFF		AACを解除しました

注意

- 初期設定はAACがONで設定速度が40 km/hに設定されています。
- GPSが未測位の場合は、AAC機能は解除されます。

(2) アラームテスト機能

待機時に **(MUTE/RCV)** ボタンを短く押すと、アラーム警告のテスト動作を行うことができます。

音量の調整・確認などに使用します。



MUTE / RCV ボタン

(3) ミュート機能

GPS警告中、レーダー警告中及び、無線受信警告中に、不要な警告音を手動で消音することができます。

操作方法

- 1 警告動作中に **(MUTE/RCV)** ボタンを短押しします。
ミュート機能が働いて警告音を消音します。



MUTE / RCV ボタン

- 2 GPS警告中のエリアを通過するか、受信電波がなくなるまで警告音を消音します。
また、ミュート動作中に再度 **(MUTE/RCV)** ボタンを押すと、ミュート機能を解除します。

(4) オールクリア

全てのメモリー内容を初期化し、工場出荷状態にします。

操作方法

(MUTE/RCV) ボタンと **(MEMO/CLR)** ボタンを押しながらPOWERスイッチをONにします。

初期化が終わると、「ポーン ポーン 消去しました」と音声でお知らせします。

(5) ナイトディマー機能

GPSの時刻をもとに、夜間になると自動的にランプの光量を抑え眩しさを防ぎます。
また、期間(季節)によりナイトディマーの時刻を切替えます。

期間	夜間
2月～4月・8月～10月	18時～6時
5月～7月	19時～5時
11月～1月	17時～7時

故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

	症状	原因
GPS レーダー	電源が入らない	●電源スイッチが「OFF」になっている →電源スイッチを「ON」にしてください
	警告音がしない (音が出ない)	●受信感度設定が低く電波の弱い場所にいる (P22・30) ●A/Cが動いている (P33) ●GPS測位していない (P11・12) ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源がはいっていない
	取締機を警告しない	●GPS測位していない (P11・12) ●新規に設置されたオービスである
	Nシステムを告知しない	●GPS測位していない (P11・12) ●新規に設置されたNシステムである
	取締以外で警告がでる	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器が影響している場合があります
	取締現場で連絡無線が受信できない	●「取締無線(350.1M)およびカーロケ無線」の設定が「OFF」になっている →設定を「ON」にしてください (P32) ●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではありません
警告の途中で警告音が小さくなる	●レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります (P23)	

主な仕様

◇GPS受信部

- 受信周波数……………1.57542 GHz
- 受信方式……………12 chパラレル受信方式
- データ登録数……………最大10,000件
- オービス登録地点……………約650ヶ所
- オリジナルポイント……………最大30ヶ所
- Nシステム……………約1650ヶ所
- SA/PA……………約800ヶ所

◇レーダー受信部

- 受信周波数……………Xバンド/Kバンド
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイナ

◇無線受信部

- 受信周波数帯……………350.1MHz (取締無線)
407MHz 帯 (カーロケ無線)
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイナ

◇外觀一般

- 電源電圧……………DC12V
- 消費電流……………待機時 50mA以下
最大 200mA
- 動作温度範囲……………-10℃~+60℃
- 外形寸法……………300(W)×82(H)×19(D) mm
(取付部及び突起部を除く)
ミラー部:79×296 mm、平面鏡
- 重量……………330 g

●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
(ニ)保証書のご提示がない場合。
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

■保証期間中は:保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは:お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

●あらかじめご承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。

●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687